

大友宗麟と臼杵

16世紀半ばキリシタン大名大友宗麟が、この臼杵湾に浮かぶ丹生島に城を築いてから、450年の間、臼杵の城下町は、当時のままの町割りと道幅を残しています。

宗麟は、室町時代末期に九州6ヶ国の守護(治安警備)と九州探題(政務・訴訟・軍事を司る要職)を命ぜられ、政庁を大分府内から、臼杵城に移し政務を行っていました。

宗麟が政務を行っていた時代(1556年~1587年)の臼杵は、九州の中心都市として機能し、明やポルトガルとの交易が行われた国際都市でした。今も残る唐人町には多くの外国人が住んでいたといわれています。

また、キリスト教布教の場として教会や修練所(ノビシャド)などが築かれ、西洋文化と東洋文化が交わっていた国際都市を形成していました。



大友宗麟公肖像画
京都瑞峯院所蔵

観光ガイドのお問合せ先(要予約)

うすきたウンツーリズム研究会	【申込み先】TEL.090-7380-4337(代表理事 長瀬 誠) 【案内地域】臼杵城下町観光ガイド/臼杵城址ガイド 古地図で町並みガイド 【料金】有料
うすき町並みガイドの会	【申込み先】TEL・FAX.0972-62-3745(会長 笹山 昭義) 【案内地域】町並み散策エリア/二王座歴史の道/臼杵城跡 等 【料金】有料
臼杵石仏ボランティアガイドの会	【申込み先】臼杵石仏事務所 TEL.0972-65-3300 【案内地域】臼杵石仏 【料金】無料※3日前まで要予約

※ガイドさんの説明を聞きながら一緒に散策もできます！
詳しくは上記の番号へお問い合わせください♪



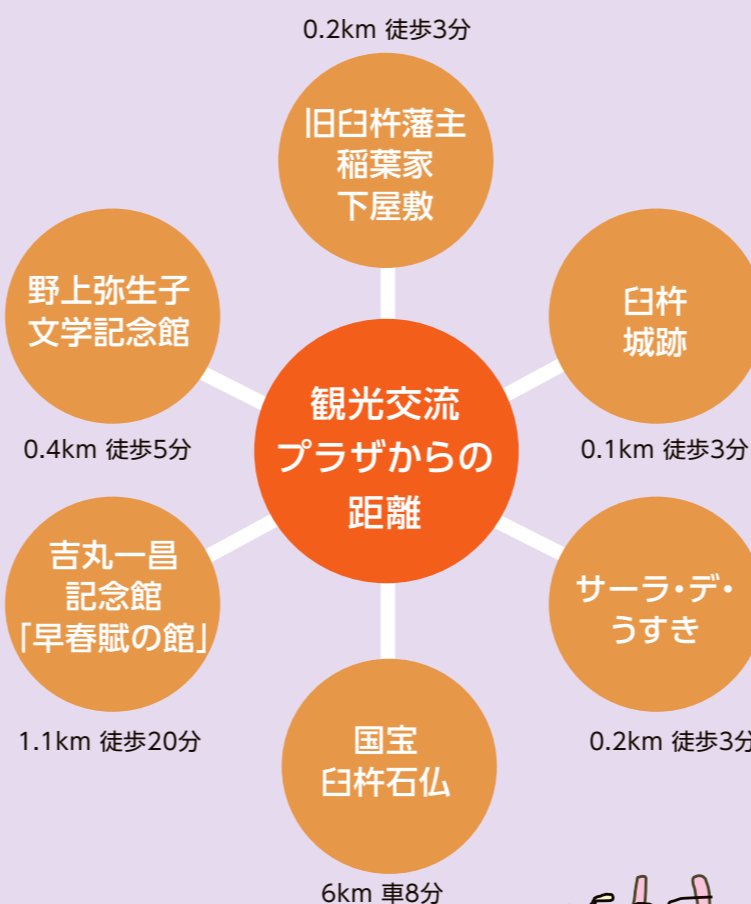
各施設料金表



施設名	TEL	料金
臼杵市歴史資料館(火曜日休館)	0972-62-2882	大人(高校生以上) 330円 小人(小中学生) 160円
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	080-4063-9855	大人(高校生以上) 330円 小人(小中学生) 160円
野上弥生子文学記念館 (12/31~翌年1/3休館)	0972-63-4803	大人(高校生以上) 310円 小人(小中学生) 150円
吉丸一昌文学記念館「早春賦の館」 *土日祝日及び年末年始(12/29~翌年1/3)のみ開館	(平日)0972-63-1111 産業観光課 (土日祝日)0972-63-7999	大人(高校生以上) 220円 小人(小中学生) 110円
国宝 臼杵石仏	0972-65-3300	大人(高校生以上) 550円 小人(小中学生) 270円
風連鍾乳洞	0974-32-2547	大人(高校生以上) 1,000円 小人(小中学生) 700円

お得な共通券あります!

4施設共通券 *土日祝日のみ販売	国宝臼杵石仏、旧臼杵藩主稲葉家下屋敷、野上弥生子文学記念館、吉丸一昌記念館	大人(高校生以上) 1,140円 小人(小中学生) 560円
2施設共通券	国宝臼杵石仏 旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	大人(高校生以上) 710円 小人(小中学生) 350円



お問い合わせ先

臼杵市観光交流プラザ TEL.0972-63-1715
FAX.0972-63-5388

2026.02.10000

キリシタン大名「大友宗麟」 ゆかりの地を巡る



距離:1.7km 所要時間:1時間

うすきあるき MAP

キリシタン大名大友宗麟が統治していた時代。臼杵のまちは南蛮貿易で栄え、キリスト教布教の地として、東洋と西洋の文化が融合した国際色豊かな町でした。いち早く世界に目を向けた大友宗麟に思いを馳せながら歩いてみませんか?



うすきあるきとは?

マップを片手に自分のペースで好奇心のおもむくままに色々なところで立ち止まりながら臼杵の町歩きを楽しめるコースです。



ゆっくり、ゆったり臼杵時間



1 サーラ・デ・うすき

注目!



サーラ・デ・うすきは白杵の食の情報発信をする拠点施設です。施設内には旬の野菜や白杵の郷土料理を味わえる飲食店舗があります。またお土産として白杵産のこだわりの素材を使用した白杵ブランド認証「うすきの地もの」商品を購入できます。

2 甚吉坂・古戦場



1586年、島津軍が白杵に侵攻したときに迎え撃ったのが宗麟の家臣、吉岡甚吉でした。お城へ向かう街道であるこの坂の戦いで武功をたてた甚吉をたたえて甚吉坂と呼ばれるようになりました。

3 白杵教会推定地(畳屋町周辺)



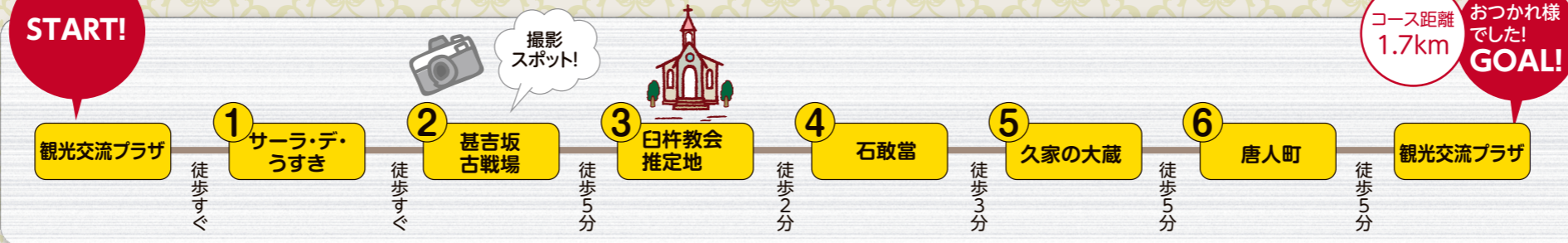
教会が建てられていた場所ははっきりしませんが1566年～1586年頃、この周辺にキリスト教会やノビシャド、さらに宣教師の住居が立ち並んでいたといわれています。ノビシャドとはカトリックの巡察師パルニャーノが宗麟の許可を得て、全国でただ一つ、この白杵に建てた宣教師を育成する練棟院です。

4 石敢當(せっかんとう)

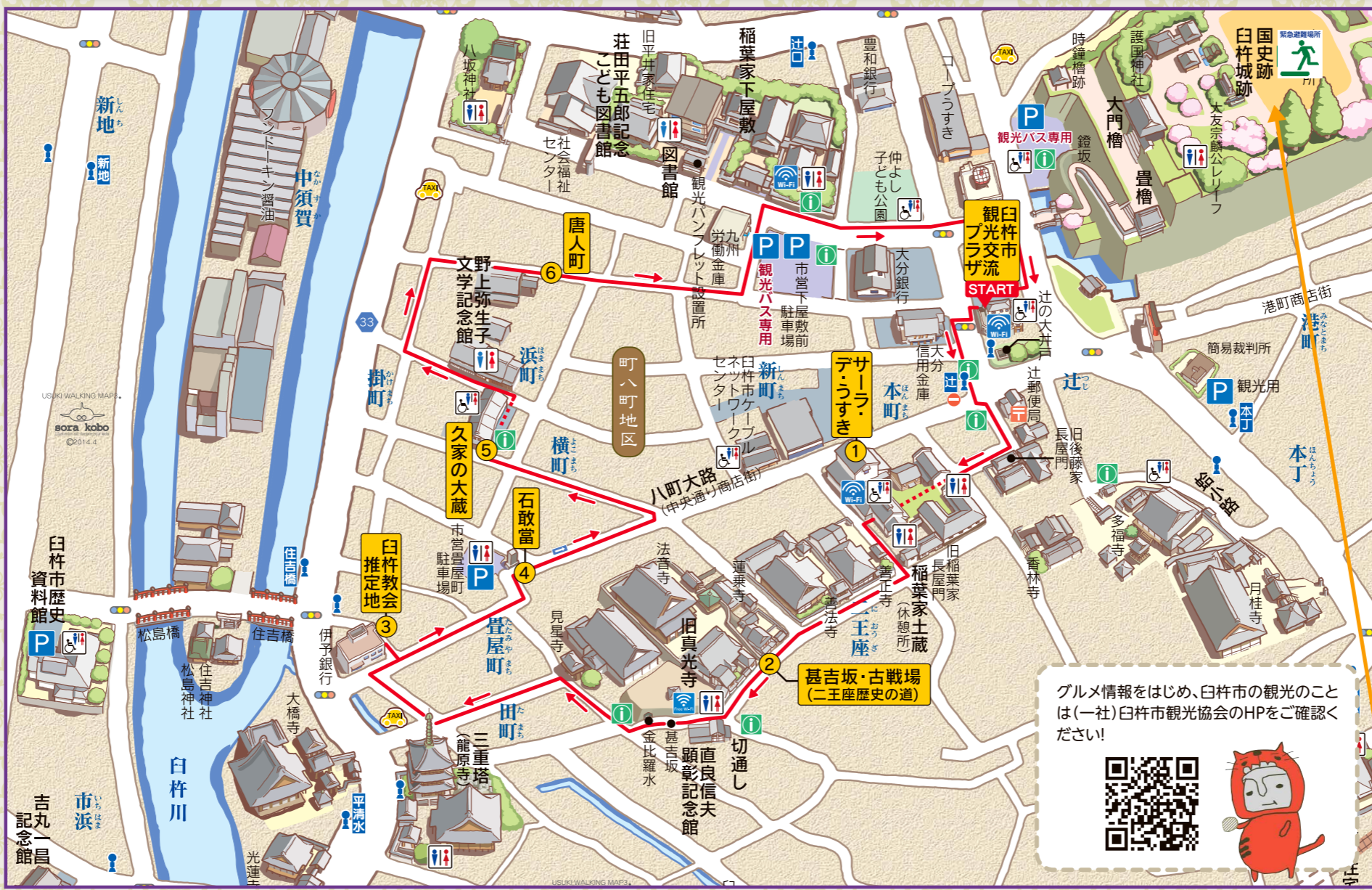


石敢當は沖縄や鹿児島に多く、厄除けのために町の出入口や橋のたもとに建てられたものです。当時、白杵の市(いち)は市浜で開かれ、けんかや口論をしずめるためにここに建てられていましたが宗麟が畳屋町に市場を移した際に畳屋町に移され、平成14年、現在地に移されました。

START!



コース距離 1.7km おつかれ様でした! GOAL!



グルメ情報ははじめ、白杵市の観光のことは(一社)白杵市観光協会のHPをご確認ください!



5 久家の大蔵



注目!

江戸時代末期に棟上された古い蔵で造り酒屋の久家本店がかつて貯蔵庫として使っていた酒蔵です。内部や外壁にはアズレージョの壁画が一面に裝飾されています。外壁の中央には大友宗麟もデザインされておりキリシタン文化を彷彿させます。



大友宗麟をイメージしたアズレージョ

6 唐人町

大友宗麟時代、白杵では対明(中国)貿易が盛んに行われ、多数の明人が居住していたことが「唐人町」の地名由来です。ポルトガル宣教師ルイス・フロイスの「日本史」には、「シナの商人たちが住んでいる町」との記述があります。宗麟の手厚い庇護のもとで貿易が行われており、明の漆喰職人や城などの工事に携わっていた大工や職人をこの町に集住させていました。江戸時代には、唐人町に沿って堀が造られ、船荷や旅人の集散の場として、城下では最も栄えた町でした。

★国史跡白杵城跡



所要時間: 30分~1時間

お時間のある方は交流プラザ後方の国史跡白杵城跡へ! 宗麟が築いた丹生島城です。かつては全国でもめずらしい海城でした。現在では公園として利用され、宗麟のレリーフや、宗麟により日本で最初に使われた大砲のレプリカなども設置しています。大門櫓横の高台からは、歩いてきた町並みも一望できます。



フランキ佛狼機砲のレプリカ



大友宗麟公レリーフ